

**応用物理に期待される資源リサイクルとエネルギー問題開催にあたって****Introductory Talk: Resource and Recycling and Energy Utilization from  
Applied Physics Points of View**

東海大教養 小栗和也<sup>1</sup>, 内田晴久<sup>1</sup>, 東大工 杉山正和<sup>2</sup>, 東大 GS+I 藤井克司<sup>3</sup>,  
NEC 特許情報<sup>4</sup> 岸田俊二<sup>4</sup>

Tokai Univ.<sup>1</sup>, Kazuya Oguri, Haruhisa Uchida<sup>2</sup>, Univ. of Tokyo, Masakazu Sugiyama<sup>2</sup>,  
GS+I Univ. of Tokyo, Katsushi Fujii, NEPAS Shunji Kishida

E-mail: uchida@tokai.ac.jp

新しいエネルギーシステムを考える場合、社会のエネルギー全体を考慮することが必要不可欠である。さらに、資源の利用・再利用を考える場合も、エネルギー問題は切り離して考えることはできない。そこで本シンポジウムでは、「応用物理に期待される資源リサイクルとエネルギー問題」と題して、ごみ処理システムを始め、エネルギー・資源の有効利用が進みつつあると考えられるセメント製造プロセスや製鉄などの各分野において、応用物理学の視点で課題を整理し、他分野との連携も含め、今後の研究開発の方向性を議論してみたいと考えている。

人間社会の中に広く分散した資源の利活用も含め、資源の獲得、利用において、エネルギーの投入は不可欠であるとともに、再資源化においては、エネルギー利用の最適化とともに、未利用エネルギーの有効活用が期待される。特に廃熱のさらなる有効利用は、今後、省エネルギーに向け大きく期待される分野の一つでもある。

様々な分野の方々のシンポジウムへの参加を期待いたします。